

地方都市を事例とした寺院建築の用途転換に関する研究
A study of adapt use of Buddhist temple to an urban facility in suburban city

学籍番号 47-086731
氏名 阿礼 めぐみ (AREI, Megumi)
指導教員 大野 秀敏 教授

第1章. 序

1.1 研究の背景と目的

建物や都市の持続可能性という観点から、既存建物の再活用が注目されるようになって久しい。現在日本には、およそ7万7千もの寺院が存在するが、現代人の宗教意識の希薄化、人口減少による檀家数の減少といった理由により、使われなくなる寺院は今後ますます増えると予測される。一方で、寺院のある景観は、原風景として親しまれ続けてきた。

本論文は、寺院の景観的特性とその都市環境への貢献を明らかにし、寺院建築の用途転換という手法を用いて寺院を継承していくことについて検討することを目的とする。

1.2 研究対象

本論文では、檀家制度に基づく菩提寺を対象とする。また、ケーススタディーには新潟県長岡市長岡地域の寺院を取り上げた。

1.3 用途転換について

文化的な観点から建造物を保存・改修していく概念は、ヴェニス憲章(1964)に、その基本的な枠組みが整えられている。特に歴史的建造物の場合は、オリジナルなものにできるだけ改変を加えてはならないとするオーセンシティの問題がある。

その一方で、建物の用途を変えて使い続けていくという文化も、特に古い街並や建築を維持してきた伝統をもつ欧米で発展してきた。一般的にリノベーションやコンバー

ジョンと呼ばれる、建物を新築建物同様の機能を持つものへ改修する手法である。これは、建物と用途の関係性が恣意的かつテンポラリーなものであることを示している。本論文では、この手法と概念を用いる。

第2章. 現代における仏教寺院と都市

2.1 宗教社会学

読売新聞とNHKの行った世論調査から、現代人の宗教意識を読み解いた。その結果、我々の生活の中には、宗教に関係する多くの行事や慣習が残っているが、個人の信仰の対象としての宗教は弱体化したことがわかった。現代人の宗教意識の希薄化の実態は、「家の宗教」として先祖供養と結びついた慣習的な宗教のあり方と、それらを支えてきた生活構造の劇的变化に伴う観念の衰退であり、そうした現象は無縁死や地域共同体の弱体化といった社会問題とも関連していることが明らかになった。また、最近では僧侶へのお布施の金額が葬儀社によって一律に提示されているケースや、菩提寺を持たない人への僧侶派遣サービスの台頭など、葬儀と仏教の関係にも変化が生じている。

2.2 都市史、社会史

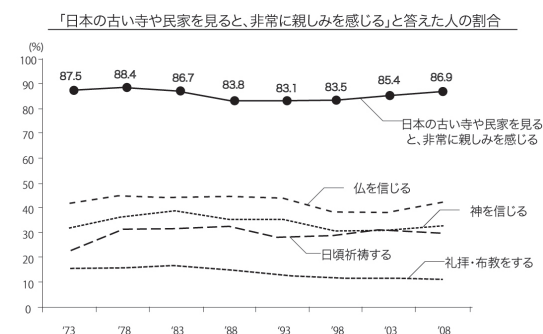
社会や都市の発展と寺院の関係を、歴史的にみた結果、仏教寺院は都市の発展に影響を及ぼし、また様々な場面で社会や生活にその影響力を発揮してきたことがわ

かった。特に、江戸時代の寺院の娯楽空間としての繁栄は、金融や観光、都市開発などの分野の発達にも影響を及ぼした。しかし近代以降、一般的な末寺は檀家制度に依存した経営形態となったため、境内の広場的、公共的性格は消え、寺院の都市に対する開放性は弱まっていった。

現代においては寺院がコンサートなどのイベントの場として、境内や本堂を提供するケースが多数見受けられた。都内のある寺院では誰もが無償で自由に利用できるオープンテラスを境内に設けていた。江戸時代からのエンターテインメント性を引き継ぐ形でのアプローチと、境内を都市に対して積極的に開いていこうとする試みは、寺院の用途転換を考える上で興味深い。

2.3 景観論

寺は、宗教意識とは無関係に、景観として多くの人に親しまれていることが世論調査の結果からわかった。寺院のある風景は、原風景であると言える。そこで、江戸時代の浮世絵を通して、どのような景観が好まれてきたのかを分析した。その結果、ランドマークとしての寺院の大屋根、境内の豊かな自然環境、街並に対する奥性が、寺院の景観の特徴であった。また現代の景観事業でも寺院が数多く選定されており、景観としての寺院の価値が確認された。



(NHK放送文化研究所「日本人の意識・2008」、問34・ナショナルリズムに関する質問より、筆者が作成)

図1. 寺のある風景に親しみを感じる人の割合

第3章. 長岡地域におけるケーススタディー

3.1 長岡地域の寺院の概要

長岡地域に現在およそ150の寺院がある。これらを立地条件から、市街地立地型、郊外地域立地型、山中・山裾立地型の3タイプに分類した。

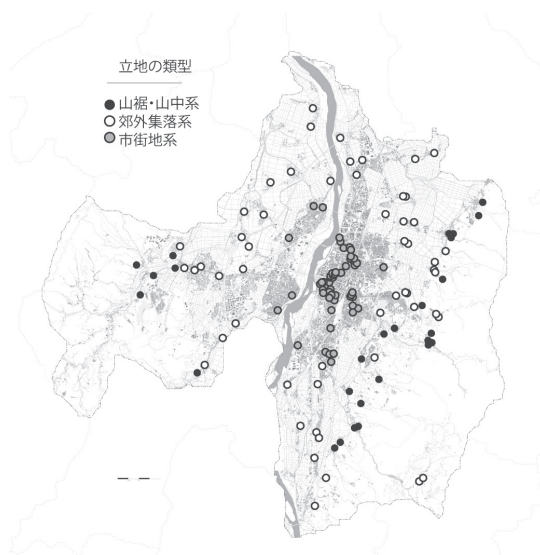


図2. 長岡地域における寺院の分布と分類

3.2 寺院関係者へのヒアリング

長岡地域の寺院関係者へのヒアリング調査からは、檀家の減少と檀家の寺離れは、全体的な傾向であることがわかった。特に地方都市の寺院では、都市部へ移転していく若年層が墓だけを故郷に残し、檀家としての関係はほとんどもたない、といった状態が頻発しており、2章で触れた葬儀の多様化や「無縁死」の問題とのつながりが把握できた。またどの寺院も、かつては地域社会のコミュニティーの一角を担っていたことも確認された。

3.3 景観構成要素としての寺院

景観論的観点から、長岡地域では寺院はどのような景観をつくりだしているのか、その視覚的な構成要素について写真と説明図をもとに分析を行った。

a. 本堂のヴォリューム、大屋根

遠景における寺院の特徴的な要素は、本堂のヴォリュームと大屋根であった。(図3)は、郊外地域に立地する寺院のパノラマ写真である。(fig.gk2)で、建物の屋根によって形成されるスカイラインを抜き出した。スカイラインの中で、寺院の屋根が作り出すヴォリュームは周囲の建物より高く大きい。さらに、(fig.gk3)は建物の屋根面を抜き出したものであるが、周辺の屋根と比較して、寺院本堂の屋根は非常に大きな面積をもっている。寺院の大屋根は遠景の中でランドマーク的な性格を持っていることが示された。



fig.gk1



fig.gk2



fig.gk3

図3. 大屋根と本堂のヴォリュームを抜き出す

b. 奥行き

参道や境内によって作りだされる奥行きは、街並みの中で寺院境内を示す特徴的要素である。(図4)は中心市街地に立地する寺院を、参道入り口から見たものである。一般道からは寺院の建物がよく認識できないほど、境内が奥にある(fig.hz2)。この構図は、第2章で取り上げた「平林寺大門」の構図に似ている。また、寺院の屋根や建物、は見えないが、山門と背後に茂る樹木のヴォリュームが、寺院境内であることを暗示している(fig.hz3)。立地の奥行きは、奥の空間的広がりを演出している。山門まで

の道は実際には公道であるが、同時に参道でもあることで、境内のオープンスペースの延長となっている(fig.hz4)。



fig.hz1



fig.hz2



fig.hz3



fig.hz4

図4. 奥行きとオープンスペース

c. 領域性や境界性をもつ植栽

最後に都市景観の中で特徴的な、植栽のヴォリュームが領域を示す事例をみる。竹林や木々に囲まれている景観は、社寺の特徴のひとつでもある。(図5)は建て込んだ住宅街に立地している寺院であり、細い公道に面して境界線目一杯に住宅が建ち並ぶ景観の中で、この寺院境内林は、特異的な景観をつくり出している。(fig.sk2)は緑被面を抜き出したものである。寺院の境内林は、周辺景観に対して寺院境内のり境界性を示すとともに、人工的要素によって構成されがちな景観の中で、景観上の緑被率にも貢献している。



fig.sk1



fig.sk2

図5. 境内の植栽が領域性をもつ

3.4 都市施設としての寺院

長岡地域における、寺院の面積、分布を、他の都市施設と比較した結果、寺院は病院や学校がない地域にも存在し、その遍在性は公民館などに次いで高く、小規模な

からも一定の面積を保有した空間が、地域全域に広く分散していることがわかった。

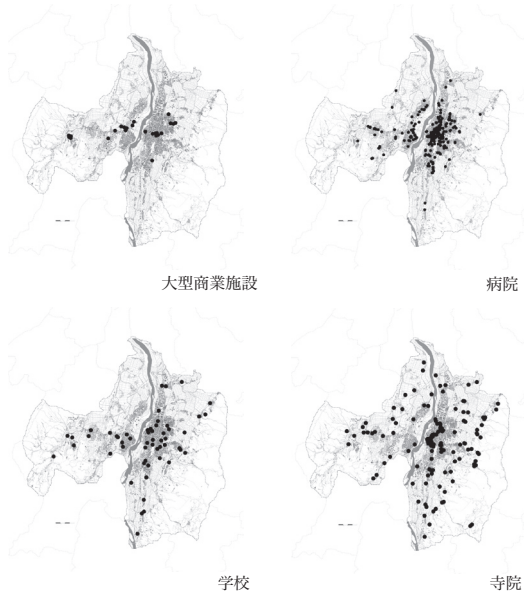


図6. 各施設の分布

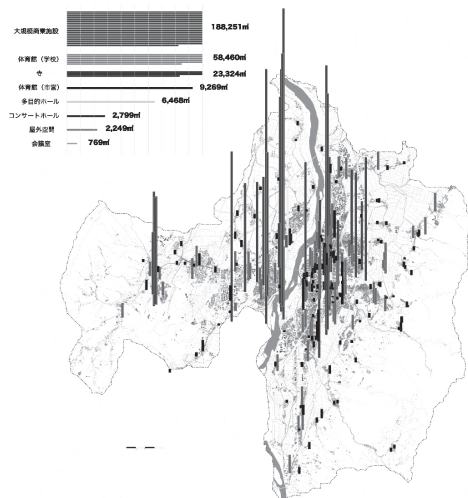


図7. 長岡地域における各種質の面積比較図

第4章. 寺院の用途転換に関する提案

4.1 寺院の用途転換

2章、3章での議論を受けて、今後檀家の減少による経営難の寺院や、寺の統廃合により滅多に使われなくなった寺院などを、用途転換し、寺院や境内とその景観を残すことを提案する。維持管理の方法としては、宗教法人が主体となって整備し新たな公

益サービスの拠点として地域に開放していくか、公的機関や民間が買い取って新たな事業の拠点とする想定である。また、郊外地域においては、医療、買い物、娯楽などの施設が少ないので、日替わりでこうしたサービスを提供する仕組みをつくり、用途転換後の寺院をこの拠点として利用することも考えられる。

4.2 寺院の用途転換—提案

最後に、寺院の用途転換のモデルケースとして、長岡市乙吉町にある曹洞宗寺院に関しての提案を行った。

寺院本堂の外観や景観の特徴を損なわないようなデザインで、かつ耐震補強を兼ねた構造を検討し、建物の両脇を鉄骨フレームにて補強する案とした。

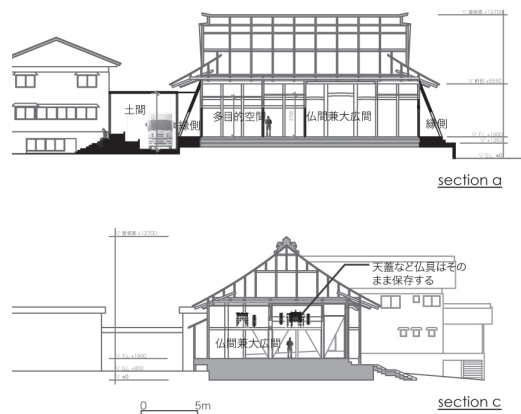


図8. 用途転換のデザイン—断面図

第5章. まとめ

寺院建築の用途転換は、コンパクト化に向けて都市の再編成が行われる際に、その土地で今まで培われてきた空間文化や地域環境を継承しつつ、新たな居住環境に適した公共の場をつくり出す手法となる。

実現に向けては、事業形態に関する具体的計画を、個別のケースごとに検討していく必要がある。